

2019年8月27日以来の九州北部地方豪雨被害について

2019年8月30日（金）
九州教区総会議長 日下部遺志

主の御名を賛美いたします。

8月27日（火）以来3日間に渡り、九州北部地方を直撃した断続的豪雨の被害につきまして、九州教区では、教区事務所よりの個別確認（28日）、各地区委員長よりの報告（28日、29日）を受け、教区内諸教会・伝道所の被害状況を確認いたしました。8月30日（金）10時現在、以下の報告がなされています。被災地域の方々、教会・伝道所・関係施設を覚えて、どうぞお祈りください。

○佐賀地区

①武雄教会

- ・武雄市内の広範囲にわたり浸水被害。
- ・牧師館の玄関部分に浸水あり。会堂については大きな被害なし。
- ・会員宅に床下浸水の被害。（詳細、今後の対応については確認中）

②唐津教会

- ・会員宅が避難区域に指定。28日（水）、29日（木）に、1名の会員が避難所に避難。

③佐賀教会

教会前に位置する水路の水位が上がり、床下に浸水。
会員宅に床下浸水の被害。（詳細は確認中）

○筑後地区

①筑後福島教会

- ・会員宅が避難区域に指定。28日（水）、会員1名が教会に避難。

○長崎地区

①北部に強い雨。

佐世保教会、佐世保比良町教会、佐世保東部伝道所、平戸伝道所より、会員の避難情報はなし。

②長崎飽之浦教会

以前より雨漏りがあり、今回の豪雨での影響が懸念される。

※ 上記は、あくまで「現時点（8/30午前10時）までの報告」を基にしたものであり、今後の状況、当該教会・地区からの報告によって、新たな被害が確認されることも考えられます。

※ 教区としての今後の対応につきましては、被災教会・被災地区との連絡を取り検討いたします。